



## 予選レポート

### 2020/12/5 Rd-5 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：15℃ 出走台数：20台

COVID-19 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、スケジュールを大幅変更して8月末にようやく開幕した2020シーズンも、いよいよ後半戦。

本来既にシーズン終了している12月の開催となる鈴鹿戦は、5日（土）に第5戦、6日（日）に第6戦の2連戦で開催される。

2グループ制で行われるノックアウト第1予選。

**A組** 山本選手は、開始すぐにユーズドタイヤを履いてコースイン。車両の感触を掴み、予選残り2分半のタイミングでコースイン。慎重にタイヤを温め、2周目にアタックを行う。昨日からの好調を維持しまずはトップ通過で第2予選へ。

**B組** 福住選手も同様にユーズドタイヤでチェックランを行い、残り3分でコースイン。落ち着いたアタックで、こちらもB組トップ通過で第2予選へ進む。

10分のインターバルを経て迎えた第2予選。

山本選手は、ライバルより早目の残り7分でコースインし、クリアラップで1分35秒0を叩き出し暫定首位に。福住選手はユーズドタイヤでセット確認を行ったうえで、ニュータイヤに交換しアタックへ。路面の変化か、ややバランスを欠き7番手となり、山本選手首位、福住選手7位で第3予選へ進む。

トップ8を決める第3予選。山本選手は2セットのニュータイヤを使って2度のタイムアタックを行うプラン。1セット目で1分34秒台を記録して暫定首位に。2セット目でさらにタイムを削り、1分34秒533を記録。すべてのセッションで1位を記録し堂々ポールポジションを獲得した。

福住選手は山本選手のセットアップを取り入れて、残り3分でアタックへ。山本選手に肉迫するタイムを記録し、3位で予選を終えた。

**5：山本選手 予選1位** (第1予選A組1位 第2予選1位 第3予選1位) HONDA 勢1位

走り始めからとても感触良く、アタック毎にしっかりと進められました。素晴らしい車を作ってくれたチームに感謝しています。といっても、2位以下とは非常に僅差ですし、決勝はまた別物なので、チームとしっかりと戦略を練って臨みます。

**6：福住選手 予選3位** (第1予選B組1位 第2予選7位 第3予選3位) HONDA 勢3位

昨日から調子は良くありませんでしたが、気持ちを切り替えて予選に臨みました。山本選手のセットアップを参考にできたのもとてもよかったです。予選3位となり自分としてはホッとしている部分もありますが、山本選手とのタイム差も大きくまだまだ攻める部分がありますね。決勝は山本選手とダブル表彰台で終えたいです。



## 決勝レポート

### 2020/12/5 Rd-5 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：16℃ 出走台数：20台

2020年後半戦 第5戦及び第6戦 鈴鹿サーキットの1戦目は、セーフティーカーが度々導入される荒れた決勝戦となった。

2周のフォーメーションラップに向かった全車だったが、このフォーメーションラップ中にストップ車両が発生。回収のためにさらに2周のフォーメーションラップが追加され、28周のレースとなる。ポールポジションスタートの山本選手と3番手スタートの福住選手は、共にしっかりとスタートを決めて1-2態勢でオープニングラップを周回。だが、その後ろではコースオフ車両が発生し、セーフティーカーが導入される。6周目にレースが再開されると、山本選手はファステストラップを更新しながら後続を引き離す。チームはピットストップウィンドウの開く10周目、福住選手にピットイン指示したその時、福住選手にトラブルが発生し突如スローダウン。ピットに戻ることはできたが、そのままリタイアとなってしまった。

山本選手は、18周を終えたところでピットイン、タイヤ交換を済ませて首位キープでコースへ戻る。その直後に130Rでクラッシュが発生し、2度目のセーフティーカーが導入される。レースは23周目にリスタート。山本選手はレースをコントロールし首位を維持するが、今度は1コーナーで多重クラッシュが発生し、3度目のセーフティーカーが導入された。レースが再開されたのは、残り2周となった27周目。山本選手は2周の超スプリントレースを危なげなく制し、ポール to ウィンの完全勝利でレースを終えた。

#### 5：山本選手 1位

荒れたレースでしたが、最後まで集中してしっかり走り切ることが出来ました。チームが頑張っている車と戦略で支えてくれました。本当に感謝しています。

残念なのは、福住選手のリタイアです。ワンツーフィニッシュしたかったし、できる力もあったと思います。明日はまた明日のレースが展開されると思いますので、状況に合わせて集中して頑張ります。

#### 6：福住選手 リタイア

山本選手とワンツー態勢で順調に走行していました。レースの混乱もしっかりと対応して戦略通りに進めていましたが、ギア制御系のトラブルでリタイアとなってしまいました。非常に悔しいですし、チーム初のワンツーフィニッシュやチームタイトルを考えると残念な結果です。ただ、好調なのは間違いありませんし、山本選手との情報共有もして、明日の第6戦は僕が優勝できるよう、気持ちも切り替えて臨みます。